

10/8(日)

グラウンド	第1試合			第2試合			第3試合		
茂原	九十九・茂原	—	佐倉	千葉西A	—	佐倉	千葉西A	—	九十九・茂原
八千代	八千代	—	千葉西B	取手西	—	千葉西B	取手西	—	八千代
千葉北	千葉北	—	千葉東・市原	取手ゆめみ野	—	千葉東・市原	取手ゆめみ野	—	千葉北
常総	常総	—	茨城	常陸太田	—	茨城	常陸太田	—	常総

※左側が1塁ベンチ

10/9(月)

グラウンド	第1試合			第2試合			第3試合		
匝瑳	匝瑳	—	千葉市A	市川A	—	千葉市A	市川A	—	匝瑳
木更津	木更津	—	千葉市B	千葉南	—	千葉市B	千葉南	—	木更津
千葉緑	千葉緑	—	船橋中央B	鎌ヶ谷	—	船橋中央B	鎌ヶ谷	—	千葉緑
なめがた	なめがた	—	水戸	松戸	—	水戸	松戸	—	なめがた
取手	取手	—	野田	船橋中央A	—	野田	船橋中央A	—	取手
竜ヶ崎	竜ヶ崎	—	市川B	浦安	—	市川B	浦安	—	竜ヶ崎

※左側が1塁ベンチ

2023東関東支部教育リーグ要綱

目的	大会経験のない1年生のマナー等の経験値を上げることを目的とする。
進行	フレッシュマン大会を前にプレ大会として実施し、グラウンド提供チームの事務局長、審判長を中心に大会と同じように進行する。ただし、日程が関東大会と重複するため紛失等防止のため選手カードの確認は行わない。 ※グラウンド提供チーム以外の各チームの事務局長、審判長も積極的に応援をお願いします。 第一試合9:00、第二試合11:00 第三試合13:00を原則とする
大会規則	関東連盟大会規則による。(同連盟HPにアップされている) ただし、4回10点、5回7点のほか3回13点のコールドゲームを取り入れる。 チームはグラウンド到着後速やかにメンバー表を提出すること。
日程	10月8日(日)または10月9日(祝・月) ※グラウンド確保の状況による。
予備日	予備日は設けず雨天等の場合は中止。
荒天時の対応	グラウンド提供チームは、天候不良の場合、天気予報、グラウンド状態を勘案し中島支部競技部長と協議のうえ、極力早く中止又は待機を決定し該当チームに連絡する。
試合方法	1会場・3チームの巴戦
組み合わせ	支部競技部で調整
審判員	チーム帯同審判員で基本各チーム4名。うち1名は主審のできる方。 7:30に集合してグラウンド提供チームの審判長を中心にミーティングを行う。 ※巴戦で各チーム4名の帯同が基本となりますが、確保が難しいチームもあります。その場合は、自チームの試合の審判をお願いすることになりますが、他チームの応援をもらってください。 ※関東大会中であることから、審判部からの指導審判員派遣は難しい状況です。各チームの審判長のご協力をお願いします。
昼食・飲料等	審判員はじめ関係者の昼食・飲料等は各チーム(自チーム)で準備、対応してください。
グラウンド使用料	通常は2,500円/1試合ですが、今回は2,500円/1チームでお願いします。 グラウンド提供チームは領収証の発行をお願いします。
試合球	試合球は協会の公認契約スポーツメーカーの刻印が確認出来る硬式球とする。 試合開始前メンバー表(5枚)交換時に3球、試合中不足分はその都度拋出する。 試合後試合球は両チームに返却する。
ロジン	試合で使用するロジンバックはメンバー表交換時に確認し両チームで管理する。
ユニホーム	試合用ユニホーム着用。背番号、シニア、エイジェックのワッペン付き。
用具チェック	通常どおり行う。
メンバー確認	通常どおり行う。
投球制限	投球制限は、日本リトルシニア関東連盟ガイドラインによる。 1日2試合になることから、各チームの監督または担当コーチは、1試合終了後にグラウンド提供チームの事務局長または審判長に投球数確認シートA表を確認してもらい、ガイドラインに沿った運用をお願いします。 投球数確認シートB表は、チームの投球数確認担当者が利用してください。

リトルシニアの投球数制限に関する統一ガイドライン

日本リトルシニア中学硬式野球協会

投手の投球数制限に関しては、次に掲げるリトルシニア独自のガイドラインに基づくものとする。

- ① 1日最大90球以内とする。 (投手 A~F)
- ② 連続する2日間で130球以内とする。 (投手 ABCE)
- ③ 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。 (投手 D・E)
- ④ 上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。 (投手 A・D・E)
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球を可能とする。 (投手 F)
- ⑥ 打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒及び、20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。
(例：2ボール・1ストライクとなり申告敬遠をした場合、それまでに投じていた3球は投球数にカウントする。)
- ⑧ 雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑨ 万が一制限数を超えて投じられた投球も有効とする。
- ⑩ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、この統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

投手の投球数制限における投球可能数のケース

(投球数)

	第1日目	第2日目	第3日目	※第4日目	※第5日目	第6日目	予備日	
投手 A	※ 90 (93)	※ 40 (46)		90	※ 40 (42)		※ 90 (92)	・・・ 上記 ①・②・④
投手 B		79	※ 51 (56)		44	※ 86 (91)		・・・ 上記 ①・②
投手 C		※	※ 40	※ 90 (95)		89	※ 41 (45)	・・・ 上記 ①・②
投手 D	68	※ 22 (26)	※ 40 (42)		87	※ 3 (6)	※ 40 (45)	・・・ 上記 ①・③・④
投手 E	82	第一試合 21		46	第一試合 25	※ 40 (46)		・・・ 上記 ①・②・③・④
		第二試合 ※ 27(30)			第二試合 ※ 19(22)			
投手 F	※ 90 (95)		90		※ 90 (94)		※ 90 (92)	・・・ 上記 ①・⑤

※ ()内は打席の途中で制限数に達し、当該打者の打席終了まで実際に投じた投球数を示す。

以上

<様式 A>

※試合毎の投球数は、
様式 Bより転記する。

投球数確認シート

【本部提出用】(試合終了後チームで保管)

大会名 : 2023東関東支部教育リーグ

チーム名 :

日本リトルシニア中学硬式野球協会

球場名																	
試合月日		/		/		/		/		/		/		/		/	
対戦相手		VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS	VS
背番号	投手名	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数	投球可否	投球可能数	投球数
1		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
2		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
3		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
4		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
5		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
6		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
7		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
8		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
9		球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球	可・否	球	球
球場責任理事(役員) 確認サイン																	
球場責任審判員 確認サイン																	
監督 確認サイン																	

注) 打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

【投球数制限】

- ① 1日最大90球以内とする。
- ② 連続する2日間で130球以内とする。
- ③ 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④ 上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥ 打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。

- ⑦ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球は投球数にカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ① 試合終了後、投球数カウント係が記入した本シート(原本)に球場責任審判員がサイン後、球場責任理事(役員) 及び、監督へ確認を求め、サインを受ける。
- ② 監督は、サインされた本シート(原本)を次の試合まで保管する。
- ③ 監督は、次の試合開始前に本シート(原本)とコピー2部を大会本部へ提出する。
注) 連戦の場合は試合前の攻守決定時に投球数確認シートを相手チームに開示する。
- ④ 鉛筆での記入と複写したシートは、原本としては無効とする。

<様式 B> (1試合用)

投球数確認シート

【責任審判員保管(試合終了後)】

日本リトルシニア中学硬式野球協会

大会名 : 2023東関東支部教育リーグ

チーム名 :

試合日 : 年 月 日 (第 試合)

球場名 :

< 記入例 >		※上段：投球数を正の字で記入 ※下段左：その回の投球数 ※下段右：累計の投球数											
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1	日本 一郎	90 (92) 球	正正正	正正正 T	正正正正	正正正正	正正正正						90(92)球
			15 / 15	17 / 32	20 / 52	20 / 72	20/90(92)	/	/	/	/	/	

注)五回、打席の途中で制限数の90球に達し、当該打者の打席終了まで投じた結果、累計の投球数が92球となった例。

【 記入欄 】													
背番号	投手名	投球数	一	二	三	四	五	六	七	TB-1	TB-2	TB-3	合計
1		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
2		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
3		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
4		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球
5		球	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	球

【投球数制限】 注)打席の途中で制限数に達し当該打者の打席終了まで投球した場合、制限数を()外、実際に投じた投球数を()内に記入する。

- ①1日最大90球以内とする。
- ②連続する2日間で130球以内とする。
- ③3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の投球数合計を90球以内とし、2日目と3日目の投球数合計も90球以内とする。なお、3日間の投球数合計を130球以内とする。4連投(連続する4日間)は認めない。
- ④上記 ① ② ③の場合において、打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認め、制限数を超過した投球は投球数にカウントしない。
- ⑤大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球可能。
- ⑥打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。

- また、12秒・20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑦申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。また、雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧万が一制限数を超過して投じられた投球も有効とする。
- ⑨異なる大会であっても、連日投球する投手は、統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

【本シートの運用方法】

- ①様式 B' やスコアシート等との確認により、正確な投球数の記入に努める。
- ②試合終了後、責任審判員が保管する。